

科目名	言語の科学B	科目コード	1135	単位数	2
担当者名	原子 智樹	開講semester	第2semester	開講年次	1年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

●授業のねらい

本講義では「言語の科学A」と連携できるようにテキストT1に沿い、世界地図と言語地図とを重ねて見てみるなどの他に、例示する諸言語の歴史的变化や、文化・社会との関連性などを踏まえ、地理言語的・社会言語的の差異の諸事例を、主に英語や日本語などを例に概観しながら、言語の面から世界を学びます。

●到達目標

英語・日本語を中心に言語の構造や人間と言語との関係の基本的理解ができるようになります。

●授業内容

- 1週目 「言語の科学B」概要説明 ・世界地図[1]（南半球）
- 2週目 言語の起源 言語の系統[1]（言語系統表a）・世界地図[2]（北半球）
- 3週目 言語の系統[2]（言語系統表b） ・言語地図[1]（言語の境界a）
- 4週目 言語の系統[3]（言語系統表c） 世界の言語[1]（各語族）・言語地図[2]（言語の境界b）
- 5週目 言語の系統[4]（言語系統表d） 世界の言語[2]（言語と国名） ・言語地図[3]（言語の境界c）  
/ テスト[i]（4週～5週のいずれか）
- 6週目 言語の多様性[1]（概説）
- 7週目 言語の多様性[2]（空間上の言語の変種）
- 8週目 言語の多様性[3]（時間軸上の言語の変種）  
/ テスト[ii]（7週～8週のいずれか）
- 9週目 言語と社会[1]（概説）
- 10週目 言語と社会[2]（個別事例a） ・英国の語彙方言地図
- 11週目 言語と社会[3]（個別事例b）  
/ テスト[iii]（10週～11週のいずれか）
- 12週目 言語接触[1]（概説）
- 13週目 言語接触[2]（個別事例a） テスト[iv]の準備解説
- 14週目 言語接触[3]（個別事例b）  
/ テスト[iv]（14週～15週のいずれか）
- 15週目 <言語習得>  
/ テスト[iv]（14週～15週のいずれか）  
/ 再試を行うことがあります
- 16週目 前回までの主な内容のまとめ / 再試を行うことがあります

●準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

進度に合わせてテキストT1を予習。また各自で適宜に復習。併せて週30分～60分程度を要するでしょう。

●成績評価の方法・基準

- 1 CoursePower上で小テスト及び小レポート数回 15%
  - 2 テスト4回 85%
- 1も2もCoursePower上で実施予定

●履修上の留意点

内容・予定の微調整は担当者の判断に委ねられます。  
主に使用する予定のLMSは、CoursePowerと大学アカウントGmailとです。連絡事項は研究室扉横に都度通知します。オンラインでの連絡はCoursePowerの 掲示板 機能を多用します。  
試験・テスト・諸課題の結果は必要に応じ教務システム上で反映します。  
進行が対面かオンラインかあるいはその併用かなどにより、内容の異同がありうることも想定しています。

●課題に対するフィードバックの方法

各回の試験の内容や付随する事柄について、簡潔に伝えてフィードバックします。

●テキスト

- T1 『入門 ことばの科学』大修館書店 ￥2,000 + 税（「言語の科学A」と同じ）
- T2 [配付資料]、及び [その他CoursePowerのアップロード資料]

●参考書

- R1 『世界言語百科』
  - R2 『言語世界地図』
  - R3 『世界紛争地図』
- R1からR3は本学図書館開架所蔵  
他に適宜紹介します。

●更新日付

2022/02/02 04:59